

ヒトの認知基盤解明とその応用研究

研究分野: 認知科学, 認知心理学, 感性情報学

キーワード: 認知, 感性, 多感覚, 音響心理

貢献できるSDGsの区分:



情報システム学部 情報システム学科 講師 中 貴一

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/naka-kiic/>

研究概要

注意や多感覚認知など、ヒトが環境の情報をどのように処理しているか、その基盤解明のための研究を行っている。またヒトの注意特性を活かしたマルチモーダルな自動車室内情報提示や、ヒューマンインターフェースの実験心理学的評価・感性評価など、応用心理学的な研究も推進している。

産学連携の可能性(アピールポイント)

- よりヒトに分かりやすく好まれるヒューマンインターフェースの提案
- 製品や技術の感性評価
- 錯覚など、ヒトの多感覚情報処理特性を活かした展示活動

外部との連携実績等

<外部資金獲得実績>

- 科研費(若手・代表), 音の到来方向が騒音知覚に与える影響の解明—騒音評価への身体性の導入—, 2024年4月~2027年3月.
- 科研費(基盤A・分担), 音の身体性が心理情報処理に及ぼす影響の基盤解明とその応用, 2021年4月~2025年3月.
- 科研費(基盤B・分担), 次世代モビリティにおける聴覚情報インターフェースデザイン, 2022年4月~2027年3月.
- 科研費(基盤B・分担), 感性個人差指標 Affect-X の構築とビスポークAIサービスの基盤確立, 2022年4月~2025年3月.

(他4件)

<共同研究実績>

- 4件(主に音響心理に関わる研究, 全て分担)
- 中貴一, 山内勝也, 田上宣昭, 川田歩, “サイン音を視覚情報位置から提示することによるドライバ行動支援の効果,” 日本音響学会誌, 77(8), 491-499, 2021.
- 中貴一, 山内勝也, 田上宣昭, “自動車室内の情報表示のための音”—これからの自動車”のためのサイン音デザイナー—,” 日本音響学会誌, 81(2), pp. 159-167, 2025.